

展示室5

# DAIDO ALBUM

◎会期:2023年4月12日[水]~6月26日[月]  
◎会場:展示室5



森山大道 〈街〉  
1953年 墨・水彩 紙 島根県立美術館蔵  
©Daido Moriヤマ Photo Foundation



1969-70年 祐天寺  
プロヴォーク事務所近くのバー「ドン」にて  
左:森山大道、右:中平卓馬



2012年 テート・モダン、ロンドン  
左:森山大道、右:ウィリアム・クライン

展示室4

# 写真史のなかのDAIDO

◎会期:2023年3月23日[木]~7月3日[月]  
◎会場:展示室4



1. 森山大道 〈犬の町(何かへの旅-3)より  
青森県・三沢市にて〉  
1971年 島根県立美術館蔵  
©Daido Moriヤマ Photo Foundation  
2. ラスコ・モホイナジ 〈フォトグラム〉  
1923年 島根県立美術館蔵  
3. 作者不詳 〈二人の肖像〉  
1840-50年頃 島根県立美術館蔵

関連イベント

## 美術講座「森山大道 光の記憶」(聴講無料)

【講師】 高谷典子 (当館主任学芸員・本展企画者)  
【日時】 5月28日(日) 14:00~(開場13:30~/約90分)  
【会場】 美術館ホール(190席) ※当日先着順

## スライドトーク《聴講無料》

【講師】 高谷典子 (当館主任学芸員・本展企画者)  
【日時】 4月30日(日)、5月14日(日)、6月4日(日) 各日14:00~(約60分)  
【会場】 美術館ホール(190席) ※当日先着順

## 美術館キネマ《鑑賞無料・当日先着順・各回30分前開場》

- I. 「過去はいつも新しく、未来はつねに懐かしい」  
写真家 森山大道 (112分/日本/2020年)  
【日時】 4月23日(日)、6月10日(土) 各日①10:30~②14:00~ (各回30分前開場)  
監督・撮影・編集: 岩間玄
- II. 「森山大道 サンパウロ、路上にて」(60分/日本/2008年)  
【日時】 5月13日(土) ①10:30~②14:00~ (各回30分前開場)  
監督: 渡辺 聡
- III. 「near equal=森山大道」(84分+10分インタビュー/日本/2002年)  
【日時】 5月27日(土) ①10:30~②14:00~ (各回30分前開場)  
監督: 藤井謙二郎
- IV. 「記録」MOVIE in LONDON 森山大道  
(60分/日本/2013年)  
【日時】 6月17日(土) ①10:30~②14:00~ (各回30分前開場)  
監督: 佐藤 亮

主催/島根県立美術館、TSKさんいん中央テレビ  
山陰中央新報社、SPSしまねグループ

特別協力/ 森山大道写真財団、東京工芸大学  
Akio Nagasawa Gallery  
タカ イシギヤラリー  
蒼穹舎 大田通貴、アトスペース シモダ

後援/ 朝日新聞松江支局、毎日新聞松江支局、読売新聞松江支局  
産経新聞社、中国新聞社、新日本海新聞社、島根日日新聞社、NHK松江放送局  
日本海テレビ、BSS山陰放送、エフエム山陰、山陰ケーブルビジョン



観覧料	当日券		オンラインチケット・ ローンチケット
	個人	団体	
一般	1,300円	1,040円	1,000円
大学生	1,000円	800円	780円
小中高生	400円	320円	300円

※観覧料にはコレクション展観覧料を含みます。  
◎オンラインチケット・ローンチケットは2023年3月2日から販売 ◎オンラインチケットはホームページより、ローンチケットは各館にてお求めになれます(ローンチケット1コード63730)  
◎団体料金は20名以上 ◎身体障害者手帳(障害者手帳アプリ:ミライロID)取得者手帳、精神障害者保健福祉手帳、被褥者健康手帳をお持ちの方、及びその付添の方は無料

## 子どもといっしょの鑑賞優先時間

かぞくの時間  
作品についてお子様とおはなしながら鑑賞いただけます。  
【日時】 毎日10:00~12:00 ※休館日を除く  
【対象】 0歳児からの子どもとその家族  
【会場】 コレクション展示室・企画展示室  
※利用期間を除く

## しまね家庭の日

【日時】 4月16日(日)、5月21日(日)、  
6月18日(日) 各日14:00~(予定)  
【テーマ】 色水あそび  
【会場】 アートスタジオ(事前申込制)

## 次回企画展予告 テオ・ヤンセン展



(交通案内)  
●JR松江駅から徒歩約15分  
●JR松江駅から松江市営バス(南循環線内回り)6分  
→「県立美術館前」下車  
●観光ループバス(レイクライン)  
→「県立美術館前」下車  
●山陰道→松江ランプ→車で約5分  
(駐車場から地下道をご利用ください。)  
※3時間まで無料

〒690-0049 島根県松江市袖師町1-5  
TEL.0852-55-4700 FAX.0852-55-4714  
<https://www.shimane-art-museum.jp>



# MORIYAMA

2023.  
4.12.WED ▶ 6.26.MON

【開館時間】午前10時~日没後30分  
(展示室への入場は日没時刻まで)  
【休館日】火曜日  
ただし5月2日は開館

## 光の記憶 Memories of Light

# 森山大道



森山大道(1938-)は、写真家として今や世界の頂点に立った。2012-2013年、ウィリアム・クラインとの二人展をロンドンのテート・モダンで開催し、2018年にはフランス芸術文化勲章シュヴァリエを授与され、翌年写真のノーベル賞といわれるハッセルブラッド財団国際写真賞を受賞している。

森山は、すでに少年期から旺盛な表現力を携えていた。写真の道に進んで以来60年間、その並外れた表出力は一貫している。一方、それぞれの時代に変容を遂げながら、豊かに展開してきたといえる。この展覧会では、その森山の写真そのものを真正面から捉えたい。活動や評価とは切り離し、写真全体を3つの大きなうねりのなかでみていく。まず、「写真とは何か」という問いを鮮烈につきつけ、「写真」という存在に魅ごとぶつかった1960年代末から1970年代初頭。次に、「写真は光と時間の化石である」という写真の原点に立ち戻っていく1970年代後半から1980年代。そして、解き放たれたように世界中の街を闊歩していく1990年代以降である。森山の眼差しが射た写真には、記憶が幾重にも重なる。漆黒の闇から照射される光に満ちた生命体のような写真群。圧倒的な強靭さをもつ写真を発表し続けた森山の60年を凝縮する。

さらに、「DAIDO ALBUM」(展示室5)では、幼少期、「PROVOKE」、「WORKSHOP写真学校」、「Room+801」、数々の国際展などの様々な活動を、作品と資料によって顕彰していく。日本初の回顧展「光の狩人 森山大道 1965-2003」(2003年、島根県立美術館ほか)以降20年の活動も含めて、作品約400点、資料約200点で構成する。

森山大道(1938-)  
大阪府池田市に生まれる。幼少期と少年期、島根県鹿野郡仁摩町宅野(現・大田市)に続く父の実家で育つ。1959年、大阪で岩宮武二のスタジオに入る。1961年、VIVOに憧れ上京し、細江英公の助手となる。1964年からフリーランスで活動。1967年、『にっぽん劇場』のシリーズで、第1回日本写真批評家協会新人賞を受賞。翌年写真集『にっぽん劇場写真帖』を出版。1968年、『PROVOKE』誌に参加。1972年、『写真よさようなら』『狩人』を出版し、新時代の旗手として多大な影響力をもった。1983年、『光と影』で日本写真協会年度賞受賞。2003年、『新宿』で毎日芸術賞受賞。2021年、朝日賞受賞。また、サンフランシスコ近代美術館(1999年)、パリ・カルティエ現代美術財団(2003、2016年)、ロンドン、テート・モダン(2012-2013年)をはじめ多数の国際展が開催される。2004年、ドイツ写真協会文化賞、2018年、フランス芸術文化勲章シュヴァリエ。2019年、ハッセルブラッド財団国際写真賞などを受賞し、国際的に高い評価を受けている。

### PART. I 写真よさようなら 1964-1973

#### SECTION.1 にっぽん劇場写真帖

1. (にっぽん劇場) 1967年 東京工芸大学写大ギャラリー蔵

#### SECTION.2 プロヴォーク

2. (東京環状・国道16号線(オン・ザ・ロード)より) 1969年 東京工芸大学写大ギャラリー蔵  
3. (スタア(アフサント)より) 1969年 東京工芸大学写大ギャラリー蔵

#### SECTION.3 何かへの旅

4. (地平線「何かへの旅-7」) 1971年 東京工芸大学写大ギャラリー蔵  
5. (写真よさようなら) 1972年 東京工芸大学写大ギャラリー蔵

### PART. II 光の化石 1974-1990

#### SECTION.4 もうひとつの国

#### SECTION.5 光と影

8.

#### SECTION.6 仲治への旅

9.

### PART. III 街 1991-2023

#### SECTION.7 hysteric/新宿

11.

#### SECTION.9 記録

13.

7.

6. (ヴェンセント・ブラックシャドウ) 1974年 島根県立美術館蔵  
7. (遠野物語) 1974年 島根県立美術館蔵  
8. (椅子、路上(光と影)より) 1981年 タカ・イシギヤラリー蔵  
9. (仲治への旅) 1984年 個人蔵  
10. (下高井戸のタイツ) 1987年 アトスペース シモダ蔵

#### SECTION.8 ハワイ/プエノスアイレス

12.

11. (Daido hysteric no.4) 1993年 作家蔵  
12. (ハワイ) 2007年 作家蔵  
13. (記録 No.23) 2012年 作家蔵  
©Daido Moriヤマ Photo Foundation

# 光の記憶 森山大道

2023. 4.12.WED ▶ 6.26.MON